

### 3 PowerPoint 2013

#### 3\_1 ワイドスクリーン対応

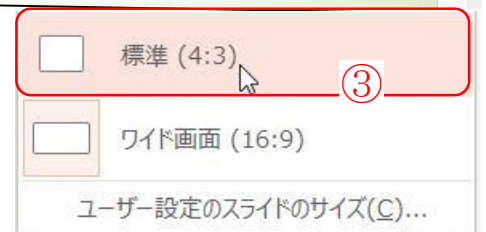
テレビやビデオの大半はワイドスクリーンおよび HD 形式に移行しています。PowerPoint も同様です。16:9 レイアウトに加え、ワイドスクリーンを有効に活用できるよう設計された新しいテーマもあります。

例;スライド サイズをワイド画面 (16:9) から標準画面 (4:3) に変更する

i) [デザイン]①タブ→[スライドのサイズ]②をクリックする



ii) メニューから[標準(4:3)]③をクリックする

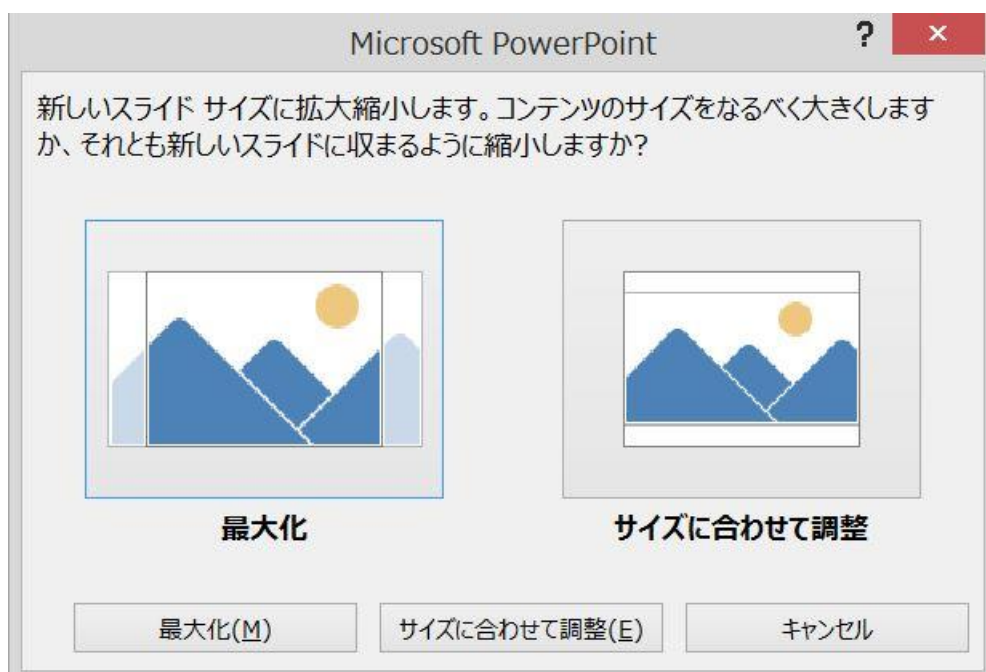


iii) 選択画面がでます

[最大化];表示サイズが拡大します。このオプションを選

んだ結果として、コンテンツがスライド上にちょうど収まらない場合があります。

[サイズに合わせて調整];このオプションを選ぶとコンテンツは縮小表示されますがスライド上にすべて収まります。



### 3\_2 よりよいデザイン ツール、テーマのバリエーション

テーマには、さまざまな種類のカラーパレットやフォント ファミリなど、いくつかのバリエーションがあります。また、PowerPoint 2013 には標準サイズのテーマと共に、新しくワイドスクリーン用のテーマも用意されています。スタート画面や[デザイン]タブからさまざまなテーマを選びます。



### 3\_3 新しい発表者ツールと、発表者ツールの機能向上

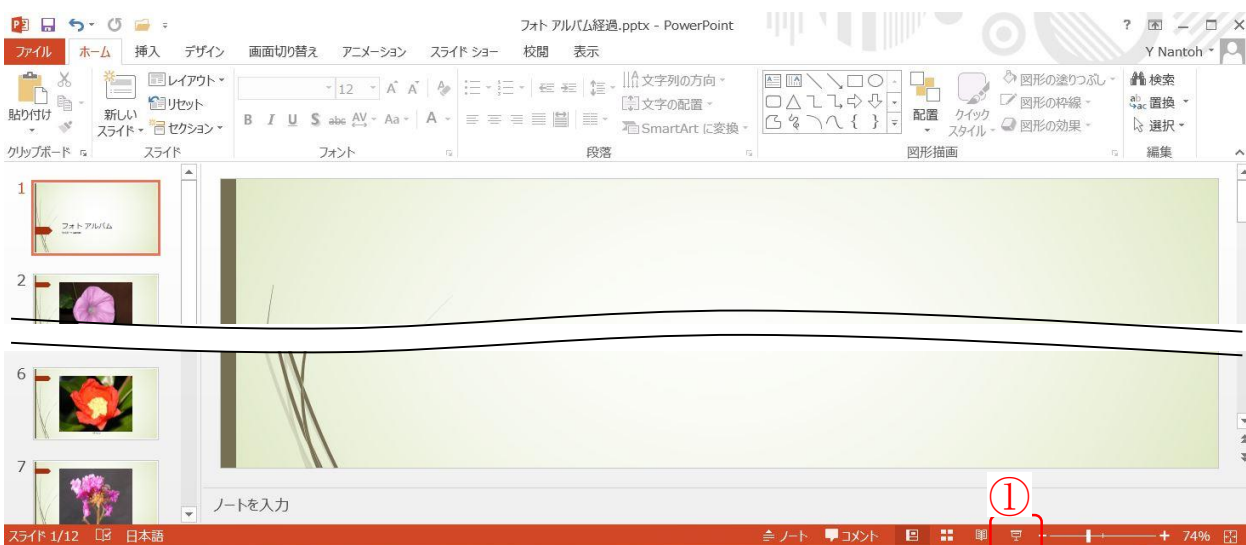
簡単に使用できる発表者ツール

発表者ツールを使用すると、オーディエンスにはスライドだけを見せながら、自分のメモをモニターで確認できます。

#### 3\_3\_1 つのモニターで発表者ツールを使用する

発表者ツールでは、複数のモニターを使用する必要がなくなりました。他になにも接続することなく、発表者ツールでリハーサルを行えます。

i) [スライドショー]①をクリックしてする



ii) [オプション]②をクリックする



iii) メニューから[発表者ビューを表示]③をクリックする

iv) 発表者ビューの画面に切り替わる

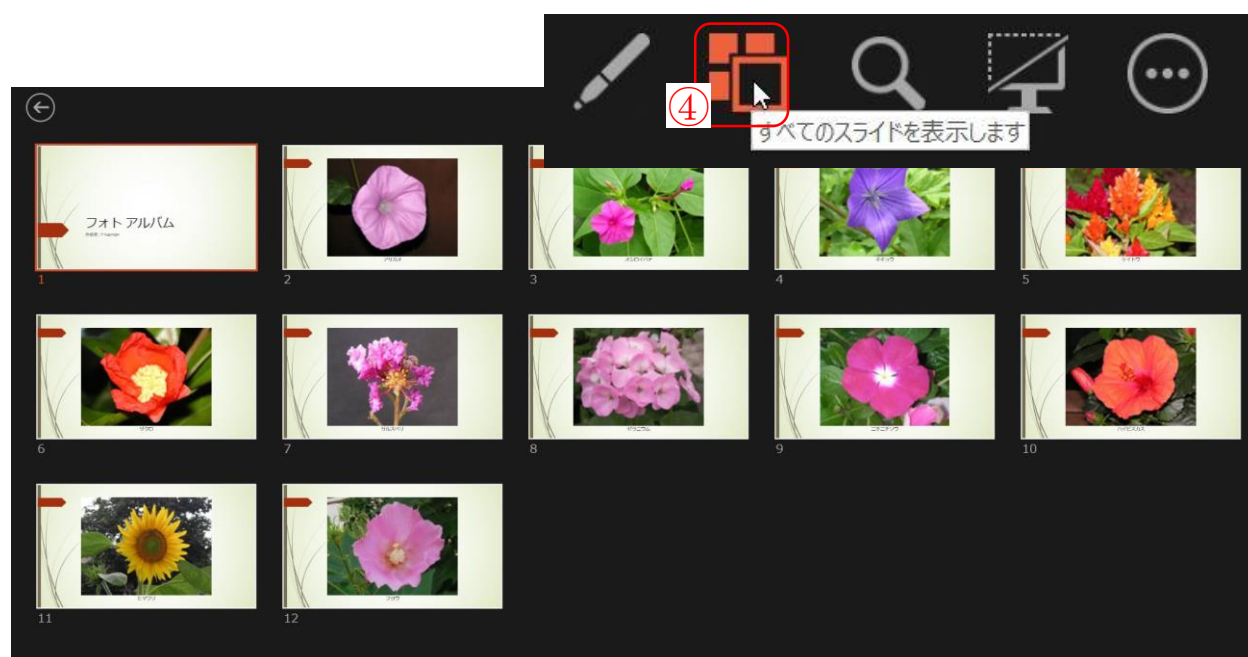


### 3\_3\_2 スライドを拡大する

虫眼鏡をクリックすると、グラフや図、または出席者に対して強調したい項目を拡大できます。

### 3\_3\_3 スライドにジャンプする

[すべてのスライドを表示]を使って、プレゼンテーションの他のセクションを参照できます。



### 3\_4 オブジェクトを均等間隔に並べる

スライド上のオブジェクトが整列しているかどうか、目をこらして確認する必要がなくなりました。画像や図形などのオブジェクトがほぼ均等に並べられると、スマート ガイドが自動的に表示されます。また、オブジェクトが等間隔で並んでいるかどうか也表示されます。



### 3\_5 アニメーションの軌跡の向上

アニメーションの軌跡を作成すると、PowerPoint はオブジェクトが最終的にどこに行くかを表示します。元のオブジェクトはそのまま残り、"ゴースト" 画像が最終ポイントまでの軌跡を示します。

i) [アニメーション]タブ→[アニメーション]グループの[その他]①のボタンをクリックする



ii) メニューから[その他のアニメーションの軌跡効果]②をクリックする

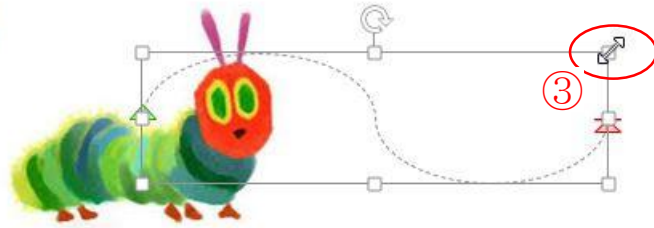


iii) [アニメーションの軌跡効果の変更]画面が出る→一覧から設定する動作を選ぶ



iv) 変化する範囲が表示される→変化範囲が枠線のハンドル③操作で行う

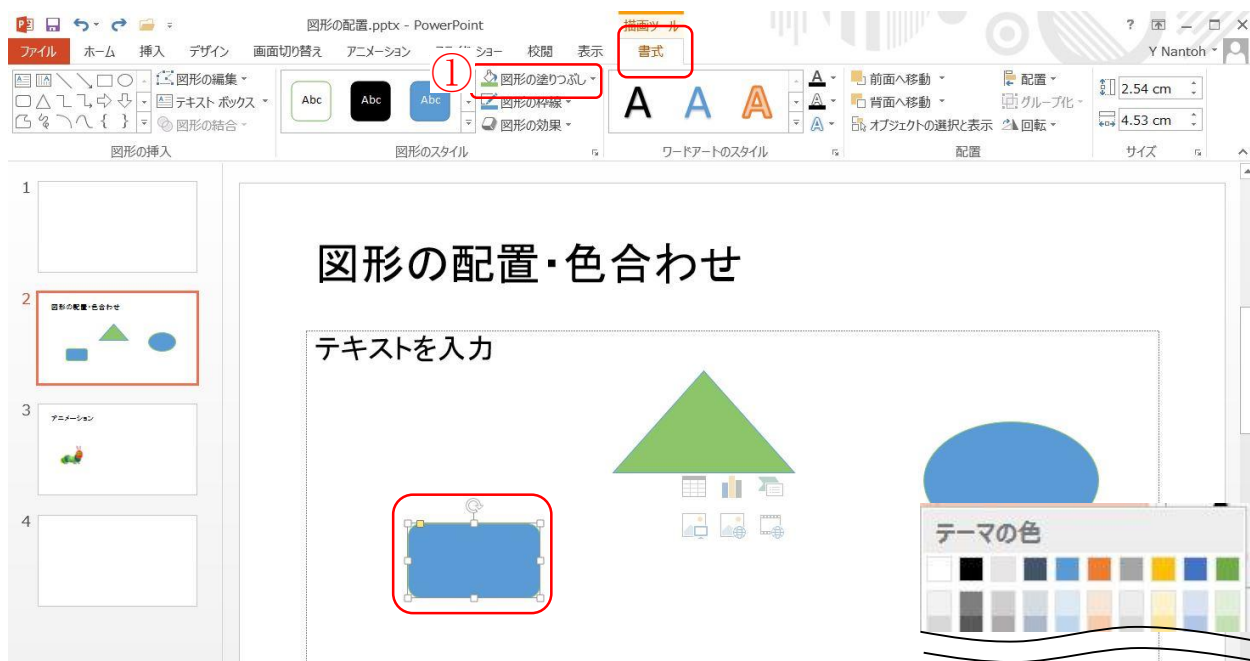
v) [アニメーション]タブ→プレビュー]コマンドで確認する



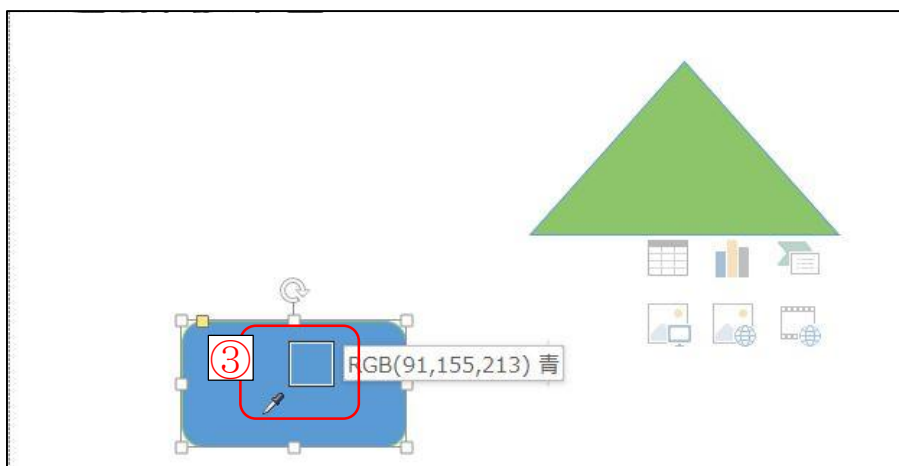
### 3\_6 カラーの一致に使用する新しいスポイト

画面上のオブジェクトから色を抽出し、任意の図形に適用できます。スポイトが自動的に色を合わせます。

i) 図形を選択→[描画ツールの書式]タブ→[図形の塗りつぶし]①コマンドの▼をクリックする

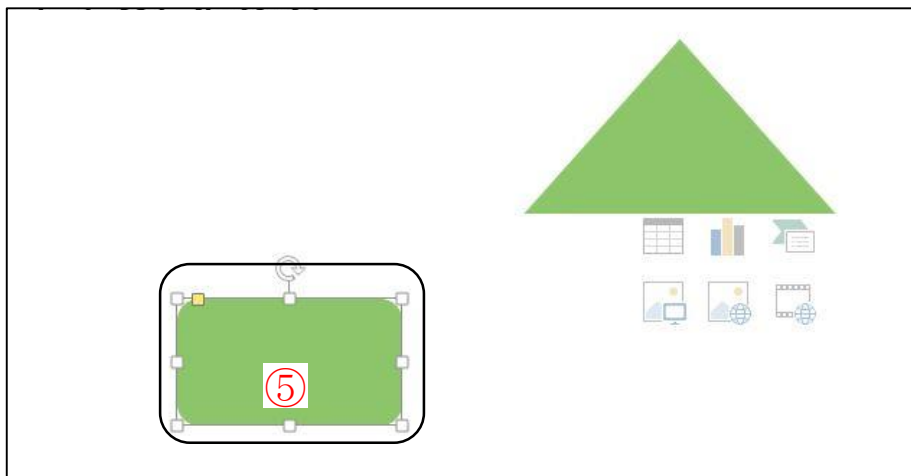
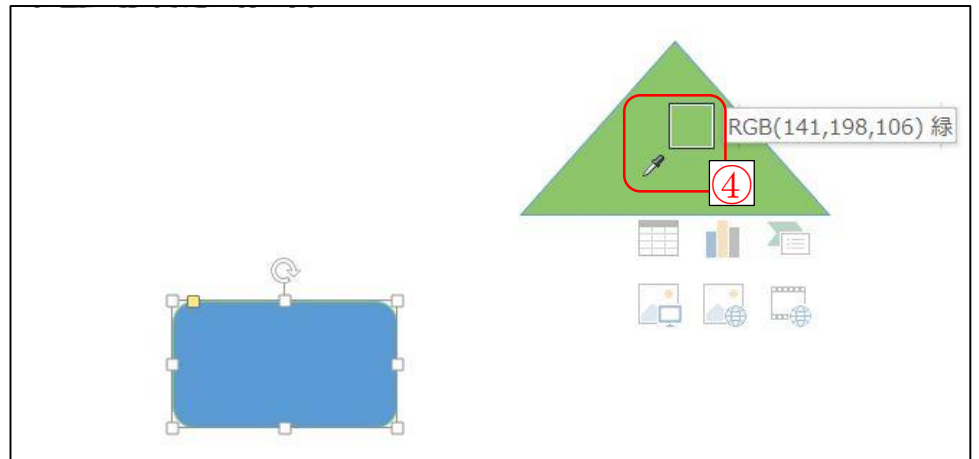


ii) メニューから[スポイト]②をクリックする



iii) カーソルを選択図形の上③に移動する→この状態でドラッグ動作をする(マウスを押した状態)

iv) 変更する色④  
までドラッグしてドロ  
ップする(ドラッグを  
解除)



v) 選択された図形  
の色が変わりました

### 3\_7 共通する図形を併合する

スライド上の、2 つ以上の共通する図形を選択して組み合わせ、新しい図形やアイコンを作成します。

